

請地だより

— 第55号 —

令和6年8月発行

発行

たかさき法律事務所

〒370-0067 高崎市請地町11番地6
TEL.027-325-9123 FAX.027-325-4101

- ホームページURL
<http://takasaki-law.gr.jp/>
- メールアドレス
office@takasaki-law.gr.jp

残暑御見舞申し上げます

巻頭言を担当するのはちょうど二年ぶりです。実はその際の巻頭言の冒頭は、「今年はまだ半分と少しを過ぎたあたりですが、ロシアによるウクライナ侵攻、急速な円安、世界的な物価上昇、そして安倍元首相の殺害など、歴史的な事件が次々と勃発しました。」というものでした。

そこから二年、ロシアによるウクライナ侵攻は今も継続しており終息の気配がありません。「急速な円安」

と述べた二年前のドルは一三五円前後だった一方で、本年は七月一日時点で一六一円前後だったドルが八月五日には一四一円台に達する等、株価とともに乱高下を続けています。物価上昇も続いており、まもなく一九九〇年代半ば以来の本格的な利上げが始まると囁かれています。また、ごく最近では、アメリカの前大統領であり次期大統領候補でもあるトランプ氏に対する暗殺未遂

事件が発生しました。こうして振り返ってみると、以前は歴史的な事象と思われていたことは実は新たな状況の始まりに過ぎず、イレギュラーではなく当たり前のことになったのかもかもしれません。

弁護士は、基本的に法と過去の裁判所の判断から依頼者に対してアドバイスし、交渉し、又は訴訟において主張を展開するものであり、どうしても過去の事例から現在を判断しがちです。しかしながら、たとえばパワハラやセクハラをはじめとする各種ハラスメントへの経営陣に対する判断は年々厳しくなっていて過去の相場観に頼るのは危険であるなど、時代の流れを注視しながらの対応も求められます。さらには、このように政治・経済情勢の大きな変動がある中では、過去の事例に囚われないドラスティックな主張展開が求められることもあるかもしれません。私は弁護士登録してからそれなりの年数を経過しておりますが、これまで積み上げた知識や経験は私が理想とするレベルには到底到達していません。そのような乏しい経験や知識に囚われることなく業務に取り組むよう心がけなければならぬと感じています。

これからも、弊所スタッフとともに、依頼者の皆様に適切なリーガルサービスを提供できるよう頑張ってまいります。どうか今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

弁護士 長井 友之
田島 慎太郎
清水 俊昌
飯野 豪
栗原 秀和
佐藤 亮
並木 駿介
松野 弘輝
中川原 良樹
事務局
武井 智子
広木 朋子
堀内 敦子
藤橋 こずえ
吉田 眞樹子
中島 裕子
宮前 香保

弁護士 田島 慎太郎



残暑お見舞い申し上げます！



長井 友之

私、この夏には六八歳となります。最近、能力（特に体力）の衰えを感じます。もっとも、元氣な先輩方に接すると、七〇前にも関わらず年寄振る訳にはいかないと感じます。

しかし、六八歳のランナーが二八歳のランナーに勝つては世の秩序が乱れます。問題は、若い時と同じように「できるはずだ！」と思い込む慢心です。年寄は、経験を生かして、事務所に貢献し、依頼者を満足させることが責務です。私は、この五年ほど、職業欄の記載に際し「弁護士」とは記入せず、「法律事務所経営」と記しています。それが実態だからです。このような私の事務所でも、経験だけでなく、若者の瞬発力と中堅の技術力を発揮することができています。それは、若手及び中堅の弁護士とのチームワークによるものです。

補い合う環境、感謝の念に堪えません。

田島慎太郎

本年三月、群馬弁護士会副会長に就任いたしました。副会長業務は就任前に予想していたよりも多忙であり、もちろん弁護士業務も通常どおり続けているため、本年度はおそらく弁護士登録以来最も多忙な日々を過ごしています。

最近の生活は、「①業務で体力と精神力を消費しストレスが溜まる」②ストレス解消のために趣味（釣り、読書及びジョギング）に励む③ストレス解消と引替えに更なる体力消費や寝不足等が重なりぐったりする④ある程度回復したところで①に戻るの繰り返しです。健全とは言えないサイクルですので、ある程度

落ち着いた時点で、業務と生活のバランスを整えるために暖めているアイデアの実現に取り組みたいと考えています。

清水 俊昌

「一緒にゴルフをするのが今の夢なんだよ。」と義父に誘われ、この春、約十年ぶりにゴルフを再開しました。以前よりも楽しく、またゴルフに熱中しているのは確かですが、十年間のブランクは私にとって長すぎました。再開後の最初のコースでは、ゴルフではなく、山林を走り回りに行ったというのが正しかったかもしれません。不甲斐なさを覚えました。しかし、逆に考えれば、私には伸び代しかないのです、今後は楽しみでもあります。昨今において、もはや猛暑日は特別ではありません。炎天下で体調を崩さないよう、ゴルフを持続可能な趣味の一つに加えたいと思います。

飯野 豪

気を引き締めたいとき、漫画を手にとることがあります。ブルーノート・レコードとのコラボレーションが行われるなど話題になっていたころ、石塚真一先生の「BLUE GIANT」シリーズと出会いました。主人公の宮本大が、兄から託されたテナーサックスを携え、「世界一のジャズプレーヤーになる。」と宣言して挑戦し続ける物語です。改めて頑張らねばという気持ちで読むからなのかもしれませんが、各地でのし上がっていく宮本大の姿を見ると、「こんなところで立ち止まっている場合ではない！」と毎回奮い立たされます。

栗原 秀和

一月にアメリカから帰国しました。渡米中はUCLAコースクールに通学し、修士号(LL.M)を取得しました。同じコースに二〇〇人ほどの外国人留学生がいました。私は最年長でしたが、若い人達にまじって久しぶりの学生生活を楽しみました。コロナの影響もあって、あらゆる面でデジタル化が進んでいるのに戸惑ったり(定期試験もPCに専用のアプリを導入して受験します)、教授の厳しいツツコミに言葉を失うことも多々ありましたが、アメリカの法制度を理解する貴重な経験でした。この経験を今後の業務に生かしたいと思っております。

佐藤 亮

初夏から暑い日が続き、日本の季節から「梅雨」がなくなってしまうようです。皆様お元氣にお過ごしでしょうか。夏休みの行楽地・観光地では、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の人出が戻っているように、実感しました。今夏以降、私は、自動車で下道を走って、佐藤家のルートである宮城県の奥地(住民は、「佐藤」だらけです。)を訪れたり、

大学生の時に東京(大隈講堂前)から北海道まで自転車旅行した旅路を辿ってみたりしようかと、考えています。妻だけや小さい子供を連れては行けませんし、一部の子供だけ連れて行くと残された子供が不満をブービー言いますので、久々の一人旅になりそうです。

並木 駿介

子どもの頃は滅多に風邪などひかない体質でしたが、ここ数年は、頻繁に体調を崩すようになってしまいました。娘が幼稚園で風邪をもらってくると、マスクやアルコール消毒などで感染予防に気を配っていても、ほぼ毎回私に二次感染し、しかも、なぜか娘よりも重い症状を呈し

て長期化します。これは巷間よく聞く話ですが、はっきりとした原因は分からないようで、主治医の話では、小児科研修中に体調を崩す研修医が特に多いそうです。子どもが小さいうちは仕方ないと割りきるしかないようですね。皆さまもどうかご自愛ください。

松野 弘輝

実は、ここ三年ほど、ひよんなことから結成された素人バンドのドラムを担当しています。それまでピアノとチューバにしか触れたことがなかったため、最初は、吹奏楽の経験を活かしつつ、YouTube等で叩き方を調べ、見様見真似で何とかかんとかやっていました。ところが、ドラムが意外と性に合っていたのか、段々と面白く感じてきました。気が付けばドラムレッスンに通い、スティックばかりかフットペダルやスローンを購入し、時間を見つけて練習に励んでいます。我ながら段々と上達してきた気がしています。今更などとためらわずに、機会を捉えて新しいことにチャレンジすると、意外な自分を発見できるものだなと感じています。

中川原良樹

ちよつど本稿を書いている頃は、大相撲名古屋場所が真っ盛りです。実は、相撲観戦にはまっていた時期があり、学生時代には両国国技館へ何度か足を運びました。その後は観戦から足が遠のいていたのですが、少し前に開催された大相撲ぐんま場所のチケットをたまたま取ることができたので、久々の相撲観戦に出かけました。取組以外にも、公開放古や相撲甚句、初っ切りなどがあり、本場所とは違った雰囲気を楽しみました。最近では、若手が台頭しており、まだ顔と四股名が一致しない力士もいるのですが、取組を見て勉強しつつ推しの力士を見つけたと思います。